第９期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	第９期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
歌志内市	①自立支援・介護予防・重度化防止	平均自立期間が短く、また、家族形態からも在宅生活が続いていかない。	住み慣れた家で長く生活を続けるために、介護力の向上・介護予防の知識獲得を目的とした介護教室を開催します。	年4回以上	年4回開催。平均参加者数20人。	◎	参加者の固定化と参加人数の減少が数年課題となっていたため、6年度よりバス送迎から個別の送迎に変更。自宅前まで送迎することで、バス停までも行けないという声は聞かれなくなった。5年度と比較し、平均で6名/回増加。内容の見直し等による参加者増への取り組みは継続して実施。
	①自立支援・介護予防・重度化防止	地域における必要なサービスや地域課題をより明確にする必要がある。	高齢者が安心して暮らせるまちづくりのために、地域ケア会議を開催し、関係者間の情報共有と連携強化を図ります。	年6回以上	地域ケア会議を5回開催。	◎	例年に比べると会議開催数は少なかったが、関係者間の情報交換や連携は概ねできていると考える。 推進会議も開催したが、庁内連携においては、やや課題が残ると感じている。
	①自立支援・介護予防・重度化防止	高齢化や交通手段の関係から、自ら相談につながらないケースがあるため、アウトリーチ型の相談支援の機会を確保する必要がある。	住民が参加する地域のつどいの場に、定期的に保健師・管理栄養士が訪問し、健康相談や不安の早期解消に努めます。	月1回以上	毎月１回、保健師・管理栄養士が健康相談を実施。	◎	相談から、他の事業や医療機関・介護サービス等につながるケースもあり、効果的と考えている。
	①自立支援・介護予防・重度化防止	運動機能や口腔機能の改善が必要な者がいる。	高齢者自らが、介護予防の取り組みを意識できるよう、各種教室において、理学療法士、歯科衛生士等の専門職から、効果的な指導が受けられる環境を整備します。	年12回以上	年6回、歯科衛生士、年12回、元気はつらつ教室に理学療法士が参加。 また、介護予防出前講座において、歯科衛生士による健康教育を実施。	◎	参加者の固定化もあり、相談内容の偏り等、専門職を十分に活用しきれていない面も感じる。効果的な指導、活用となるような取り組みについて検討。

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	第９期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
空知中部広域連合	②給付適正化	介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、受給者が真に必要とするサービスを、事業者が適切に提供できるようにするため、北海道では「第６期介護給付適正化計画」を策定し、保険者と一体となって取り組む方針としており、当連合としても重点事項として位置付けられている5項目について実施していく。	認定調査状況の適正化	調査票全件点検の実施	調査票全件である1,008件の点検を実施し、テキストに基づき、不整合がないか確認し、整合性のある認定調査となるよう認定調査員への指導を行った。	◎	調査事項と特記事項の整合性が図られていない調査票が見受けられることから、今後も認定調査の平準化をはかるため、調査員に対する指導を継続していく。
	②給付適正化		ケアプランの点検	隔年訪問実施	４事業所計8件について、自立支援に資する適切なケアプランであるか等に着目し、ケアプラン点検を行った。	◎	利用者の自立支援に資する適切なプランであるか等に着目し実施しており、今後も継続していく。
	②給付適正化		住宅改修及び福祉用具購入の点検	申請書類の全件点検、必要に応じた現地確認の実施	住宅改修及び福祉用具購入の申請時に全件点検を行った。また、適切な福祉用具等が選定されるようケアプラン点検時に確認を行った。	◎	不適合な改修の申請の場合は、申請者やケアマネジャーに制度を説明し理解を図っており、今後も継続していく。また、ケアプラン点検時にも確認を行っていく。
	②給付適正化		医療情報との突合及び縦覧点検	毎月点検実施	国保連合会に委託し、帳票をもとに点検実施した。	◎	国保連合会への委託と国保連合会帳票を使用した点検を実施しており、今後も継続していく。